

世界一美しい琵琶湖の渦「環流」

夏になると、琵琶湖には世界一美しいと言われる渦が作られます。私たちはそれを環流と呼んでいます。1925年に神戸海洋気象台の人たちによって発見された環流は、その後、数多くの研究者によって研究されてきましたが、あまり一般には知られていません。というのは、水の流れを人間の目で直接見ることができないからです。そこで、現代の計測機器を用いて、環流の姿を多くの人々に知ってもらおうというプロジェクトが立ち上がりました。

用いたのは図1のようなフロートです。ブイの下に抵抗板と呼ばれる十字に組み合わせた白い板を吊るします。これに流れがあたると、その方向にブイは移動します。表面に出た棒の先端には位置を測定し発信するGPSとラッカーと言う装置をつけました。これによって、インターネットからブイの軌跡を追跡することができました。ブイを投入したのは8月13日、回収したのは8月15日でした。その結果を図2に示します。ブイが時計と反対方向にきれいに一周しています。かかって時間はほぼ48時間でした。これは8月における環流の標準的な速さと一致しています。

お盆の催しとして、これからの継続できないだろうかと考えています。あなたも琵琶湖の渦を可視化するプロジェクトに参加しませんか。



図1 琵琶湖に投入した漂流ブイ



図2 琵琶湖を一周した漂流ブイ（スタートから終了まで約48時間）